

平成30年度

市長・教育長と語る会

平成30年11月9日(金)19:00~20:30

福井市体育館 第5会議室

【福井市】 東村新一市長 吉川雄二教育長

【福井市PTA連合会】

会 長 橋詰直起

副 会 長 笥達雄 宮郷美千代 後藤正邦 高木幸一

ブロック長 鈴木和男 榎波真介 山崎武士 福田智司

女性代表 波多野みずほ 三上弓恵 村上佳代 藤田茜 杉原恭子

副ブロック長 錦織勝一 内田嘉昭 廣部勝宏 河上剛志 山本英治

総務委員会 矢谷智 堀内康弘

広報委員会 古石三千代 山本益美

特別委員会 漆崎直光 宮下泰浩

事務局 刀根朋子

【福井市】 桑原浩明 西行裕 野尻尚美 廣木健治郎 三原嘉允 黒川啓子

●市長・教育長と語る会

平成30年11月9日（金）、福井市体育館会議室において「市長・教育長と語る会」が開催されました。福井市PTA連合会からの10の質問に対して、市長・教育長から現在福井市として取り組んでいる状況や、今後の対応予定など詳しい説明をしていただきました。

質問1～6は当日回答をいただきましたが、時間の都合上、質問7～10につきましては、後日文章にて回答をいただきました。

質問事項

1. 国体について
2. 災害対策について
3. 夏休みのプール開放について
4. 熱中症対策について
5. 英語教育について
6. 共働世帯全国1位についての対応について
7. 学校の建て替え、合併について
8. 子どもたちの安全・安心について
9. プログラミング教育について
10. 学校区について

●市長・教育長と語る会

質問1 福井しあわせ元気国体、福井しあわせ元気大会の成果及び評価について

- ・多くの方々がいろいろな立場で国体に参加いただいた。
- ・天皇杯・皇后杯ともに勝ち取ることができ、成果を挙げられた。
- ・障害の有無にかかわらず、雨の中での開会式で一生懸命ダンスを披露する様子から、融合開催の先駆けとしては、成功したと評価できる。
- ・今回の成果を見て、今後ますます強化されていく競技が出てくるとよい。
- ・障がい者スポーツの観戦を通じて、理解を深めることが出来たのではないか。

質問2 豪雪や豪雨など災害時の通学路の安全対策や部活動の実施について

- ・今回の豪雪の際には、学校周辺の雪かきなどPTAの皆様にご協力いただき本当に感謝している。
- ・今回の豪雪の経験を踏まえ、今後の除雪体制をしっかりと整えていきたい。今後ともPTAや地域の皆様にはお力をお貸しいただきたい。
- ・豪雨などの災害では、避難警告が住民に十分に伝わりにくい、防災行政無線で放送された内容を電話で確認できるサービスを始めた。早めの避難を促すため、準備情報を明るい内に発令することとしている。
- ・子どもたちが学校にいる時に災害が発生した場合は、各校が他校の状況を確認しながら、判断できるようなシステム9月から取り入れた。市教からも一定のガイドラインを示しているが、地域や警報発令の時間帯によっても対応が異なるので、詳しくは各学校に問い合わせたい

●市長・教育長と語る会

質問3 夏休みプール開放について

- ・今年度はプール開放にあたり、PTAの皆様には本当に多くのご協力をいただき感謝している。アンケートを通していろいろなご意見をいただいている中で、来年度もプールは開放する方向で考えている。開放にあたっては学校の規模により開催出来るところと出来ないところがないように配慮していきたい。
- ・アンケートの中でも、救命救急に対する不安の声が多く寄せられていた。全ての学校に救命救急の講習を受けた管理員を1名配置し、保護者同伴による学校プールの利用を検討している。
- ・いずれにせよ来年度もプール開放に向けて、十分検討したいと考えている。ご意見を伺いたい。

質問4 熱中症対策(教育現場での対策とエアコンの設置率)について

- ・福井市の学校のエアコン設置率は、普通教室で100%（全国的には58%）。音楽室にも小中学校全てに設置されている。
- ・体育や郊外学習の際は、子どもたちの健康観察を行い、水分補給には十分に気を付けるよう教員には指示している。
- ・暑さ指数を目安に、活動を自粛することもある。
- ・職員室や保健室のエアコンも老朽化してきており、順次取り換えが必要な時期がきており、その更新を順次行っていく予定。

●市長・教育長と語る会

質問5 高校入試における英検問題に対応する英語教育について

- ・高校受験に英語検定3級以上に加点されるシステムになっている。「読む」「書く」「聞く」はテストで評価できるが、「話す」スキルは今の入試では評価ができないため、スピーキング力を問われる英語検定3級に合格しているかどうかで、一定の評価することができる。それが、加点の発想の始まり。
- ・加点制度がいつまで続くかについては、来年度の全国学力学習状況調査の英語テストにて、スピーキングテストの実施が予定されており、これがトラブルなく出来るかどうかで、今後の入試のあり方も変わる可能性がある。

質問6 共働世帯全国1位となり、親が働いている時の子どもの受入れ施設について

- ・現在福井市では児童館を29か所、児童クラブ49か所で運営し、放課後子どもたちを受け入れている。
- ・共働き世帯が増えると、子どもたちの放課後の居場所の確保が必要になってくる。今までは小学校1～3年生が対象の中心だったが、6年生までに対象年齢が引き上げられたことにより、部屋が足りなくなる状況が出てきている。空き教室が無い地区では、他の施設も利用し対応に努めている。
- ・児童缶や児童クラブで子どもたちを見てくれる人の確保も難しくなっている。

●市長・教育長と語る会

